

イオン土浦ショッピングセンターについて



沼田義雄 議員

質問 商業を中心とする土浦の再生、まちの活性化は、本市の大きな命題となっている。本年6月頃のオープンが伝えられているイオン土浦ショッピングセンターについて、現在市で把握している内容を伺いたい。

市長 店舗構成は、キーテナントであるジャスコを核として、約百七十の専門店が入居する予定であり、現在百パーセントの入店者が決定している。また、他のショッピングセンターとの差別化を図るため、店内において市内の名所や旧跡、イベント情報等を広くPRするとともに、各種団体や市民の皆さまに活用していただける発表の場の提供、会議室等の用意も考えているとのことである。このようなことから、数多く存在するイベントや市内観光施設への回遊性を確保することにより、

新しい交流人口を創出し、活性化に繋げてまいりたい。
二 水辺の集客施設について



イオン土浦ショッピングセンター

人にやさしいまちづくり事業について



安藤真理子議員

質問 本市では、平成十二年三月、「土浦市人にやさしいまちづくり計画」を策定し、この計画に沿って今日まで公共施設や民間施設の改善に取り組んできたものと思われる。これまでの事業の状況、実績、今後の計画について伺う。

保健福祉部長 計画当初から本年度までに、市庁舎や学校、公民館等七十一施設について、出

入り口の段差解消、多目的トイレの設置、階段等の手すり設置改善工事を行い、さらに土浦駅、荒川沖駅のエレベーター、エスカレーターを設置補助や、ノンステップバスの導入補助等を実施した。今後は、エレベーター設置等、長期計画の施設整備を残すのみとなっており、建て替えや大規模改造等の課題を整理し、施設ごとの方針検討を考えている。今後も各種施策を通じてバリアフリーを推進してまいりたい。

消防について



藤川富雄 議員

質問 災害はいつ起こるかかわからない。先日オーストラリアの大火災で数百人の死者が出た。本市の消防署、市

内各分団の緊急災害時の体制について伺う。

消防長 本市消防本部、消防団のみで対応困難な大規模災害が発生した場合、本市をはじめ、全国四十七都道府県、各消防本部の三千九百六十一隊が緊急消防援助隊に登録していることから、県内消防本部はもとより、全国の緊急消防援助隊から援助が受けられる体制が整っている。

(掲載以外の質問事項)

- 一 新型インフルエンザ対策
- 二 百年に一度の金融恐慌
- 三 景観条例の制定



臨時職員の募集の継続と雇用期間の延長について



久松 猛 議員

質問 非正規労働者の大量解雇、失業急増が社会問題とな

っており、本市でも雇用対策として、臨時職員の募集及び採用を行ったと聞いている。今後も臨時職員の募集を継続し、雇用期間も延長する必要があると考えるが、見解を伺う。

副市長 本市では雇用状況調査結果に基づき、本年二月三日から二十名程度の臨時職員の募集を行ったものの、採用は二名であった。応募者が少ない要因として、全国的に雇用期間の短さ、慣れない作業への戸惑いなどがあり、本市においても同様であったと思われる。当該事業は、雇用目的を次の職業に就くまでのつなぎ雇用と考えていることから、期間は六ヶ月を目安とし、今後も市報、ホームページ、ハローワーク等を活用しながら、広く周知してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

- 二 霞ヶ浦導水事業について
- 三 火災警報器の設置助成

